

業務概要書

1. 業務の内容

(1) 件名

OCIO（アウトソースド・チーフ・インベストメント・オフィサー）業務

(2) 業務概要

本学の資金運用コンサルティングと、運用する資金の自家運用部分以外の委託運用部分に係る運用業務を委託するものである（以下「運用委託」という）。

(3) 業務の詳細説明

3. 業務内容詳細のとおり

2. 目的

本学ではキーマンリスクの逡減や中立性の向上を企図し、OCIOを活用した運用体制の強化と運用の高度化を図りたいと考えている。その際、資産全体の長期的な運用方針とともに検討しつつ、運用委託部分におけるポートフォリオ策定や投資先ファンドの提案、モニタリング、リスク管理など広範な業務を支援できるパートナーを選定したいと考えている。また、本学にとって初めての取組であることから、学内ステークホルダーへの高い説明責任（アカウンタビリティ）を果たし、透明性の高い運用管理体制を構築することを目的とする。

本学の委託による運用額、収益目標等については、以下のとおりである。

[本学の委託による資金運用]

・運用額：30億円

・目標リターン：年5.0%（インカムリターン年2.5%を含む）

※尚、目標リターンは、委託運用にかかる一切の費用（信託報酬、投資信託報酬、各種手数料）を含まないが、OCIOにかかる報酬（投資顧問報酬）のみは目標リターンに含める。

※委託開始後3年を目途に年5.0%の基本ポートフォリオ完成を目指す

3. 業務内容詳細

業務内容は、下記（1）から（8）に掲げるものとする。なお、業務にあたっては関係法令、本学が定める規程等及び委託運用ガイドラインを熟知した上で行うこと。また、業務全般にわたって分かりやすく丁寧な説明を行うこと（専門用語の平易な解説等を含む）。

(1) 運用方針の策定支援

- ・運用委託部分における目標収益率、許容リスクの検証と提案
 - ・運用委託部分における許容リスクに付随するリスク管理手法等の提案
 - ・資金運用規程の改正支援
 - ・委託運用ガイドラインに対する提案
- (2) 基本ポートフォリオ提案と見直し提案
- ・運用委託部分における基本ポートフォリオの提案
 - ・運用委託部分における基本ポートフォリオの検証、必要に応じて見直し（毎年）提案
- (3) マネージャー・ストラクチャー設計
- ・運用委託部分における資産クラスごとの最適な戦略配分の設計
- (4) ファンド選定
- ・運用委託部分における投資先ファンドの提案（自社関連ファンドを採用する際は客観的かつ合理的な理由と自社グループが得られる収益及び利益相反管理のルールを説明すること）
 - ・運用委託部分以外で本学が要請するファンド評価情報の提供
 - ・採用を希望する運用会社からのファンド提案や情報提供の受付対応
- (5) 運用委託部分のポートフォリオ構築・管理
- ・（１）、（２）、（３）、（４）に基づいた運用委託部分におけるポートフォリオの構築と管理
 - ・投資先運用会社との事務手続き
 - ・資金移動の手続き（ペイアウトやキャピタルコールの対応など）
- (6) モニタリング及びリスク管理
- ・運用委託部分におけるパフォーマンスやリスク管理状況の報告書作成（四半期毎）
 - ・マクロ経済環境、市場環境の分析（四半期毎、随時）
 - ・運用会社からの法定報告書メール受付（毎月）
 - ・モニタリングにより明らかになった課題に対する解決方針の提案と実行（随時）
- (7) ガバナンス体制強化支援
- ・資金運用管理委員会への出席及び説明（原則年４回以上 リモート形式可）
 - ・資金運用管理委員会に必要な資料作成や委員からの照会事項への対応
 - ・役員会からの照会事項への対応

(8) その他の業務支援

- ・資産ごとの運用状況（簿価額、時価額等）データベース（運用益管理簿）作成支援
- ・運用益配分額計算支援
- ・緊急時における対応方針作成と運営の支援
- ・本学内での資金運用に関するノウハウ・知見の蓄積支援、運用委託部分以外で本学が要請する資金運用に関するアドバイス

4. 業務期間

2026年10月1日から2030年3月31日までとする。ただし、上記の業務期間満了日の4ヶ月前までに本学、受注者のいずれか一方から契約終了の申し出がない場合は、業務期間満了日の翌日から向こう1年間更新されたものとみなし、以後も2034年3月31日まで同様とする。運用継続の是非については、目標リターンの達成状況やリスク管理の適切性等の評価に基づき判断するものとする。

5. 提案内容

提案書には、以下の項目を記載すること。

(1) 提案者の概要

- ・資本金や従業員数等の規模等を表す属性・業務経歴や事業内容
- ・情報管理・保護体制
- ・コンプライアンス体制（利益相反管理体制含む）
- ・国内での資金運用関連業務（運用、コンサルティング）実績、件数

(2) OCIOとしての業務・支援体制

- ・担当責任者
- ・担当予定者の人数、担当業務及び職歴
- ・外部ファンド評価体制及び組織としての安定性（キーパーソンリスクへの対応）

(3) 運用業務の内容・方法（3. 業務内容詳細を踏まえ記載すること）

- ・運用の哲学や理念
- ・運用方針策定における提案者の方針
- ・基本ポートフォリオ策定における提案者の方針
- ・基本ポートフォリオ案（運用にかかる報酬控除後目標リターン5%、投資先ファンドの特定は不要）

※本項目は提案者の資産配分能力や哲学を評価するための参考案であり、契約後の実際の運用ポートフォリオを確定させるものではない。実際の構築にあたっては本学と十分な協議を行うものとする。

- ・ マネージャー・ストラクチャー設計における提案者の方針
- ・ ファンド選定における提案者の方針
- ・ 運用委託部分のポートフォリオ構築・管理における提案者の方針
- ・ モニタリング方法（可能であればサンプルを掲載すること）
- ・ ガバナンス体制強化支援
- ・ その他の業務支援

(4) セールスポイント

- ・ 上記以外に、業務上、有利である事項があれば記載

(5) 提案価格（税抜き）

- ・ 年間見積額を記載すること
- ・ なお、OCIOにかかる報酬（投資顧問報酬）のみとし、信託報酬、投資信託報酬及びその他必要となる経費については含めない。

(6) ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標

以下のいずれかの認定又は内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を受けていれば記載すること。

- ・ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍促進法）に基づく認定（えるぼし認定企業）又は一般事業主行動計画策定（常時雇用する労働者の数が100人以下のものに限る）
- ・ 次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく認定（くるみん認定企業・トライくるみん認定企業・プラチナ認定企業）
- ・ 青少年の雇用の促進等に関する法律（若手雇用促進法）に基づく認定（ユーザー認定企業）

(7) 評価項目

評価項目	評価事項	配点
参加資格	公募要領に記載の要件をすべて満たしているか	0
提案者の概要	情報管理体制・コンプライアンス体制	0
業務・支援体制	OCIO体制	35
業務の内容・方法	運用方針の策定支援	20
	基本ポートフォリオ提案及び見直し提案	30

	マネージャー・ストラクチャー設計	20
	ファンド選定	20
	運用委託部分のポートフォリオ構築・管理	10
	モニタリング及びリスク管理	10
	ガバナンス体制強化支援	15
	その他業務支援	10
セールスポイント	上記提案以外で評価できる事項がある場合には加点	10
見積額（税抜）		10
ワークライフバランス		10
合計点		200